

髪を切るだけのボランティア ヘアドネーション

自分の髪の毛を寄付して医療用ウィッグなどに活用する「ヘアドネーション」。寄付の方法や実際に寄付した皆さんの体験談をお伝えします。

ヘアドネーションとは

ヘアドネーションとは、小児がんや先天性脱毛症などの病気や事故などによって、頭髪を失った子どもたちのために、寄付された髪の毛で作った完全オーダーメイドの人毛の医療用ウィッグ(かつら)を無償で提供する活動です。

この活動はアメリカで始まり、欧米を中心に普及しています。日本では、2009(平成21)年に特定非営利活動法人 Japan Hair Donation & Charity (JHD&C/ジャーダック)が設立されて以降、同様の活動をする団体が増えていきます。その後、有名人が髪を寄付したことで話題となり、徐々に広がってきています。

寄付された髪は、団体によって選別・加工され、医療用ウィッグとして子どもたちに提供されます。

「活動を行っている日本の団体」

- ▼特定非営利活動法人 Japan Hair Donation & Charity
- ▼特定非営利活動法人 エアロ株式会社 グローウィング 『つな髪® プロジェクト』

病气やけなどで髪を失った子ども、特に思春期の子どもにとつて、髪の毛はとてもデリケートな問題です。市販のウィッグでは自分の頭のサイズに合わないことが多く、友だちに指摘されたりすることで、周囲の目を気にするようになります。

髪の毛の問題で悩んでいる子どもたちが少しでも自信を持って日常生活を送ることができるよう、そして少しでも笑顔や元氣を取り戻してもらえるよう、前向きになれるように応援する、とても意義の深い活動といえます。

この活動の意義

- 髪を寄付するときの注意
- ① 31センチメートル以上の長さがあること
 - ② 伸ばした状態で計測。引つ張ると切れてしまうほどのダメージを受けていないこと
 - ③ カラーやパーマ、白髪などは問題ない。
 - ④ 髪の毛が完全に乾いている状態であること
 - ⑤ 髪の毛が湿っていると、移動中に繊維が傷みやすくなる。カビなどが繁殖すると周囲の髪の毛もまとめてダメージを受けるので注意。
 - ⑥ 切り口を輪ゴムでしっかりとまとめていること
 - ⑦ 毛束は根元をゴムでしっかりと結ぶ。紐などで結ぶと途中でほどけてしまう。
 - ⑧ 髪の毛の束は同一人物ごとにまとめること
 - ⑨ 複数人の髪の毛を一度に送る場合、全員分をまとめて束ねず、個人ごとに束ねる。

ヘアドネーションを経験した皆さんにお話を伺いました



やましたあさこ
山下朝子さん(白井区)

仕事でさまざまなお客さんと接する中で出会った人から、ヘアドネーションのことを教わりました。詳しく調べてみると、あと少し髪を伸ばせば自分も簡単に髪の毛を寄付できるとわかり、やってみることにしました。

寄付のために髪の毛を切った時は、自分の髪の毛が誰かの役に立つんだ、とうれしくなりました。せっかくのロングヘアでも、ただカットするだけの人が多く、もったいないと感じます。ヘアドネーションは誰でも簡単にできます。みんなが無理することなく、自然に支え合うことができたいですね。



おおいわゆい
大岩由依さん(白井区)

2歳上のお姉ちゃんがヘアドネーションをした時に、私もやりたいと思いました。ずっと髪が長くて、あんまり短くしたことがなかったのが心配だったけど、やってよかったです。髪の毛を切った後に友だちからいろいろ聞かれたので、ヘアドネーションのことを教えてあげました。

今も髪を伸ばしていますが、今度2回目の寄付をするつもりです。周りには、まだ他にヘアドネーションをした人はいませんが、もともとテレビとか新聞など、みんなが見るもので宣伝すれば、ヘアドネーションを知ってもらえると思います。



さきむらな
杉村菜々さん(福岡区)

2年前の1月に1回目、昨年11月に2回目のヘアドネーションをしました。もともと髪が長く、親戚がヘアドネーションをした時に興味を持ち「私の髪の毛が役立つなら」と軽い気持ちでやってみました。ちょうど新しい学校に入るタイミングでもあり、心機一転したいという気持ちもあつたかもしれませぬ。

ちょうど髪の毛を切るタイミングでヘアドネーションを知れば、やる人は増えるのではないかと思います。髪の毛が短くなるとすごく楽だし、気持ちも軽くなります。これから少しずつ続けていきたいです。

ヘアドネーション豆知識

31センチの長さが必要な理由

一般的なウィッグは、頭の上から襟足まで、約30人分もの髪の毛をバランスを見ながら植毛することで、やっと1人分ができあがります。その際、髪の毛をV字に折り、ベースに植毛していきます。つまり、31センチの髪の毛で、約15センチの長さのウィッグができます。15センチというのは、植毛した時に髪の毛が寝る最短の長さ。そのため、31センチ以上の長さが必要なのです。

15センチから寄付を受け付けている団体もありますが、フルウィッグの製作はできません。シャンプーやカラー材の評価毛やカットマネキンの素材のほか、特殊なウィッグなどに使用されるようです。

医療用ウィッグ助成事業

市では、がん患者への医療用ウィッグの助成事業を実施しています。本市に在住し、がんと診断されて治療を受け、脱毛した人に対し、上限2万円(1回限り)を助成します。詳細は問い合わせください。

▶ 問い合わせ 健康推進課 ☎030024

団体によって、寄付できる髪の毛の条件が異なります。インターネットなどで、寄付する団体の条件を確認の上、準備してください。また、団体の都合などにより受け付けを一時休止している場合もありますので、必ず事前に確認をお願いします。

ヘアドネーションの手順



- ① 髪の毛を切る前。3年ほど伸ばしていたそう。
- ② だいたい同じ量で毛束を作りゴムで束ねる。毛束が31センチ以上の長さがあるかしっかりと確認。
- ③ 束ねた位置の少し上あたりにハサミを入れる。
- ④ カットはあっという間に完了。この後は、自分の好きなスタイルに仕上げてもらおう。切った髪の毛は、束ねて郵送する。

【ご注意】
美容院がヘアドネーションに対応しているかどうか、郵送方法はどうか(美容院によっては郵送してくれる場合もあります)など、必ず事前に相談するようにしてください。